

瑞源寺と松平吉品

1673 年（延宝元）、吉江藩主松平昌親（のちの福井藩 7 代藩主の松平^{よしのり}吉品）の母高照院の菩提寺として、丹生郡吉江（現鯖江市）に高照山瑞源寺が再興されました。翌年、松平昌親が福井藩 5 代藩主となると瑞源寺も吉江から現在地である足羽山北麓に寺を移し、1675 年に寺領 50 石を与えられ、福井藩の保護を受けました。

1710 年の松平吉品の葬送後に瑞源寺に墓碑が建立されると、さらに寺領 50 石が加増され、吉品（探源院）の菩提寺に位置づけられました。

本堂は、19 世紀前半に福井城本丸御殿として建てられた建物のうち、小座敷を 1860 年（万延元）に移築したもので、福井城の遺構の一部として知られています。



瑞源寺本堂（福井市足羽 5 丁目、福井県指定文化財 第 320 号）

写真提供 国京克巳氏